



# 医師会病院だより



## 理念

安心して暮らせる地域造りを目的とし、益田地域のニーズにあった保健・医療・福祉の提供を行います。

## 基本方針

1. 公正で安全な医療を提供し人材育成と研修の場を提供します。
2. 患者さま・ご家族さまの人権と意志を尊重した、納得と同意に基づいた医療を提供します。
3. かかりつけ医の支援病院としてきめこまかな病診連携を行います。
4. 在宅を目指した保健予防・リハビリテーション・緩和ケアの充実を図ります。
5. 公益社団法人として益田地域全体にわたる保健・医療・福祉のセーフティネットを構築し、公益の増進に寄与します。

## 第86号

院長年頭のごあいさつ  
現場力  
感謝状をいただきました  
双葉会忘年会  
健康食レシピ

## 年頭のごあいさつ

# 蒔いた種に実（巳・み）を結ばせる

院長 狩野 稔久

益田市医師会は昨年、公益社団法人に認定されました。定款に基づき益田地域の保健・医療・福祉セーフティネットを構築し、住民の方が将来にわたって安全で安心して住める地域づくりに貢献するという責務を果たすこととなります。

そこで、社会構造の変化、医療を取り巻く状況の変化や将来の姿を把握し、圏域が抱える課題やニーズを見極め、中長期的視点に立ち、医師会として何をなすべきか、中長期計画検討委員会（委員長 神崎裕士 医師会副会長）を立ち上げ、今後の活動の指針となる計画を策定、体制を整備し必要な事業を行うこととなりました。

議論の前提に、人口動態があります。益田市（美都・匹見を含む）の人口は1975年、57,727人で高齢化率12.3%でしたが、2005年にはそれぞれ52,368人、28.3%。その5年後には49,726人、30.7%になっています。

急速に高齢化が進行し人口構造が変わっていき中、医療の姿も当然変わらなければなりません。これまでのように急性期医療中心の「cure（治す）」から、慢性疾患を抱える高齢者を「care（支える）」医療の役割が増えてくるに他ならないからです。

厚生労働省も高齢社会を見据え、治療を中心とした「医療」から生活を重視した「介護」、「施設」から「地域」への流れを促すために「地域包括ケア」を社会保障制度改革の柱に据えています。地域包括ケアとは、急性期入院から亜急性期、回復期、リハビリテーション、介護、在宅ケアに至る様々な医療介護福祉サービスを切れ目なく提供する仕組みを連携に基づき創ることです。

当医師会は、医師会病院を中心に組織内に様々

な機能を有し、診断・治療のみならず、健康増進、疾病予防から、リハビリテーション、介護、ターミナルケアに関わる事業展開を積極的に行ってきました。

日本の高齢社会を先行している益田地域で、医師会病院は今後さらに「病診連携」「医療と介護の連携」を推進し、会員とともにワンストップの「地域包括ケア」サービスを提供、公的病院以上に公益機能を果たし地域セーフティネットの核を目指す覚悟です。

進取の気概を持ち、まとめた計画は、今年6月の医師会定期総会に提案され、承認を得た後スタートの予定です。

辰年で「上昇」させた計画が、年改まった巳年で「実を結ぶ」具体的なアクションプランとなることを期待してください。

私たちが「これからすること」「これからしなければならないこと」は、日本が「いずれしなければならないこと」になるのです。



# 現場力 ~ 病院機能評価(ver.6)認定 ~ 院長 狩野 稔久

「医療費の自己負担の増加や医療事故の多発を通して、利用者である患者やマスコミからのニーズという名のさまざまな要求は増加し、また監視の目がますます強くなってきた。このような背景のもとで医療のマーケティング戦略として“品質の保証”すなわち、医療の質を高めることで真のサービスを提供し、選ばれる病院づくりが今まで以上に必要な時代となってきた」医療のTQM推進協議会を通じ十数年来の知己である恵寿総合病院理事長・神野正博先生は、初めて出会った当時こう語っていた。

ところで、質を評価するやり方は3通りある。

まず事業者自身、すなわち第1者が行う自己評価。これは客観性に欠けることがある。第2者評価はアンケート調査、投書箱といったような利用者による評価である。しかし、医療・介護サービスでは利用者の事業者に対する遠慮により、厳しい評価を下すことが困難な構造が存在する。第3者評価は利用者、事業者双方ともに利害関係のない第3者による外部審査であり、今回受審した病院機能評価などである。

病院機能評価とは...

医療の質と安全の向上を目的として、一定の基準に基づき、中立の立場で第3者の目から医療施設を評価したものをいいます。

質評価は、こうした多角的な視点を組み合わせ、総合的に行うべきものであるが、第3者評価、特に日本医療機能評価機構が行う病院機能評価審査には莫大な費用と労力を要し、受審や再受審をためらう病院もあると聞き及ぶ。

当院は10年程前、Ver.4の時代に初めて受審した。今回はそれから3回目、7月11日から3日間にわたったVer.6の受審であった。



機能評価Ver.6受審の様子

Donabedianが提唱したヘルスケアにおけるサービスの質評価は「ストラクチャー（人員体制、設備、建物などの評価）」、「プロセス（サービス提供の手



順の確立やその遵守、苦情処理、リスクマネジメントなど)」「アウトカム（患者が受けた影響、変化、効果）」の3つで構成される。

1回目の審査時は書類やマニュアル、人員配置や設備など「ストラクチャー」中心の評価であった印象を受けたが、Ver.5では「プロセス」へ重きを置いたものになっていった。すなわち「業務を改善できる仕組みがあるか」繰り返し、繰り返し問われていた。そして今回、サーベイヤーがしつこく訊ねてきたのが「改善できた成果を示してください」というものであった。すなわち「アウトカム」が問題にされていたのである。今後は、その結果を他院とベンチマーキング（比較検討）することにより、長所・短所を明らかにし、質改善につなげていくことが重要であると胸に刻むことができた。

12月7日、認定証が交付された。1年以上にわたり用意周到に準備し、改善を重ね、成果を生み出した活動が正当に評価された結果であると思う。医師会病院の現場力には全く恐れ入る。準備事務局はじめ職員のみなさんの努力に対し心から敬意を表し、併せて感謝を申し上げたい。

だが機能評価認定は目的ではない。評価の結果明らかになった課題に対し改善に取り組み、「医療の質を高め、真のサービスを提供し、選ばれる病院」を作る通過点であることを忘れてはならない。

医療の質向上を図るPDCAサイクルは永遠に回り続ける。

# 感謝状をいただきました

益田市で、平成24年度から「医師を支える」事業の新規企画として、長年にわたり益田の地域医療を担い支えている医師の方々に、感謝の気持ちを伝えたいという思いから、10年以上病院に勤務した医師を対象として、感謝状と益田市の特産品や温泉入浴券を送る『病院勤務医師支援事業』を実施されることになりました。

当院では院長である狩野稔久先生と副院長である五十嵐雅彦先生が対象となりますので山本益田市長から感謝状及び特産品、温泉入浴券をいただきました。



市長から感謝状を受け取る院長



院長と副院長2人で

# 双葉会忘年会開催

12/21(金)毎年恒例である双葉会の忘年会が開催されました。双葉会は益田市医師会の職員で構成されており、今回は、約200名の参加となりました。



毎年各部署持ち回りで余芸を披露することになっています。今年は、くにさき苑2階が担当となり大いに会場を盛り上げてくれました。

この一年を締めくくるにふさわしい忘年会となり、参加した人は大満足の様子でした。



くにさき2階による余芸



大ビンゴ大会

# 健康食レシピ

りんごのコンポート

りんごのおいしい季節ですね。

コンポートとは、果物を砂糖で煮込んだり漬け込んだお菓子です。同じ様に煮込んで作られるジャムに比べて果物そのものの食感や風味が残っているのが特徴で、糖度も低めに仕上がりに、ヘルシーなお菓子になります。

生で食べるりんごもおいしいですが、たくさんある時などにひと手間加えてみてはいかがでしょうか。ヨーグルトやパンに添えてもいいですね



【4人分】

りんご	300g
砂糖	大さじ1
レモン汁	大さじ1
水	大さじ1

【一人分】

エネルギー	50kcal
たんぱく質	0.2g
脂肪	0.1g
炭水化物	13.2g
食物繊維	1.1g
コレステロール	0mg

## 【作り方】

### 調理

りんごは八つ割りにして、芯を取り除きます。

皮をむいてもOKです。皮をつけたままにしておくと、ほんのりピンク色に仕上がります。

耐熱皿に のりんごを入れ、砂糖とレモン汁水をかけてラップをします。

電子レンジで約3分加熱し、上下を返してもう一度ラップをかけ約3分程度加熱します。

荒熱がとれたら、皮をむいて冷蔵庫で冷やします。

### 仕上げ

お皿に盛ってできあがりです。

# 益田地域医療センター 医師会病院 外来診療担当医一覧表

平成24年1月4日より

診療科	診察	月	火	水	木	金	備考
内科 消化器内科	午前	狩野 稔久	古田 晃一郎 (消化器内科併診)	小川 哲生	狩野 稔久	小川 哲生	内科一般 消化器内科(火曜日)
						古田 晃一郎 (再診のみ)	
循環器内科	午前				伊藤 新平 (9:00~15:00)		循環器内科
外科	午前	服部 晋司	林 彦多	榎野 好成  林 彦多 (再診のみ)	和氣 仁美 (11:00まで)	五十嵐 雅彦	消化器外科・呼吸器外科 小児外科・肛門科 一般外科
					山野井 彰 (胆・肝・膵外科) (11:00~)		
					五十嵐 雅彦 (再診のみ)		
肛門外科	午前				服部 晋司  林 彦多		第1・3・5木曜日 服部医師 第2・4木曜日 林医師
整形外科	午前	交互診療	守屋 淳詞 (脊椎は除く)	大中 博司	大中 博司	守屋 淳詞 (脊椎は除く)	整形外科一般
麻酔科	午前		島大麻酔科			島大麻酔科	交互診療 (島根大学麻酔科教授月1回不定期診療)
川比 斥之介科	午前	新垣 美佐	柿木 伸之	新垣 美佐	中島 暁美 (9:30~12:00)	柿木 伸之	川比 斥之介科全般
リウマチ科 (電話予約制)		近藤 正宏 角田 佳子 (9:00~15:00)					膠原病専門外来 近藤・角田の交互診療 電話による完全予約制
呼吸器外科	午前		岸本 晃司 (9:00~12:00)				第2・4火曜日 呼吸器疾患全般 二次健診後のフォロー
循環器外科	午前			末廣 章一			第1水曜日 (心臓・血管外科)
特殊外来	脳神経領域	午前		山崎 達輔			
	頭痛外来	午前		石崎 公郁子			完全予約制
	放射線治療	午前				玉置 幸久 猪俣 泰典(教授)	第4金曜日 玉置・猪俣の交互診療
	乳腺外来	午後		榎野 好成 (13:00~)			14:00~16:00
	緩和ケア外来	午前				五十嵐 雅彦 服部 晋司	第1・3・5木曜日
	外科 北二科外来	午前					田島 義証 (島大消化器総合外科教授)

初診受付 午前8時30分~11時00分 再診受付 午前8時30分~11時30分

## 緩和ケア外来のお知らせ

「がん」と診断された患者さんは、手術や化学療法など「がん」そのものの治療だけでなく、「がん」に伴うつらさ(痛みなどのつらい症状、こころの問題、療養上の気がり)を解決する事も大切です。そこで当院では患者さんやご家族のサポートをするために緩和ケア外来を行っています。

**外来日：木曜日(第1・3・5週目)**

**担当医：五十嵐雅彦・服部晋司**

**事前の予約が必要です。**

ご予約・ご相談、問い合わせ先 **がん相談支援センター** 担当：二宮 隆史

発行：益田地域医療センター 広報委員会

〒699-3676 島根県益田市遠田町1917-2 TEL：0856-22-3611(代表) FAX：0856-22-0407

E-mail：info@masumi.shimane.med.or.jp 医師会病院URL：http://hp.masuda-med.or.jp/